

2022年度事業方針

医療・福祉・健康づくり活動

1. 医療活動

高崎中央病院

- ①新型コロナウイルス感染症に対して引き続き外来対応と回復患者の入院受入れを行います。
- ②急性期・療養・地域包括ケアの病床を活かし、周辺医療機関、介護施設との連携強化をします。
- ③SDH（健康の社会的決定要因）について学習し、受療権、人権を守る病院としての役割を職員が明確に意識できるように努めます。

通町診療所

- ①健康診断（特定健診）や受診の呼びかけを強め、病気の予防や早期発見に取り組みます。
- ②新型コロナウイルス感染症の発熱外来や予防接種の対応を継続します。

歯科診療所

- ①医科・歯科・介護の連携を進め、在宅歯科医療の充実及び通院困難な患者への対応を継続します。
- ②健康な口づくりをめざし、班会・健康講座など外に発信する機会を実践していきます。

2. 介護・福祉活動

在宅福祉総合センターほほえみ

- ①困難な環境変化が続いても、継続して利用者に信頼され、満足していただける居宅介護支援事業所をめざします。
- ②デイサービスは、利用したすべての方に、「また利用したい」と思っただけのようなサービスの提供をめざします。
- ③病児・病後児保育は、利用者満足の事業所をめざします。

介護センターほほえみの杜

- ①高齢者住宅では、感染対策を強め、満室をめざします。
- ②デイホームでは、個別機能訓練やレクリエーションを充実させます。
- ③ショートステイは、サービス内容を充実させます。

高齢者住宅虹の家

- ①高齢者住宅では、満室の維持・入居者の確保をめざします。
- ②デイサービスでは、日々のレクリエーションの充実に取り組みます。
- ③ヘルパーステーションでは、利用者が住み慣れた地域で生活が継続できるよう支援します。

看護小規模多機能つむぎ

- ①利用者の確保と、サービスの質の向上をめざします。
- ②訪問看護ステーションは、在宅で暮らし続けたい方に満足していただけるサービスの提供に努めます。

高崎中央病院

- ①デイケアは、自立や社会参加を意識したリハビリを継続して行います。
- ②訪問リハビリのさらなる拡充を行います。

通町診療所

- ①BCP（事業継続計画）を策定し、非常時対応も視野に入れます。

その他

- ①有償ボランティア「あんじゃねえ」は、協力者を増やす手立てを検討していきます。

3. 事業所利用委員会

高崎中央病院

- ①虹の箱や地域から寄せられる声を大切に、挨拶運動を提起します。

通町診療所

- ①家庭医としての通町診療所の情報を発信します。
- ②患者・利用者満足度アンケートを活かした事業所づくりをします。

SDH（健康の社会的決定要因）

健康状態の差は、ライフスタイルや環境、保健医療の違いによって起こりますが、これらを決定しているのは政治的、社会的、経済的要因です。生まれ育った国・地域・家庭等により教育水準や所得などの格差が生まれ、健康格差ができることは、本人の責任ではなく、社会が引き起こしている不公平です。このような健康格差を生み出す要因を「健康の社会的決定要因（Social Determinants of Health）」といいます。

歯科診療所

- ①安心安全な医療体制の充実を図ります。
- ②利用委員による院内巡視を行います。

介護事業所

- ①「利用したい」「利用してよかった」の事業所づくりを進めます。

4. 健康づくり

- ①はるな健康体操や健康づくりに関連する企画を開催します。
- ②「健康ハイキング」、「すこしお料理教室」に取り組みます。
- ③「ぐんままるごと健康チャレンジ2022」を多くの人に呼びかけます。



すこしお料理教室2019

5. 組合員活動

・つながりづくりの活動

- ①登録班の年間1回以上の班会開催をめざします。
- ②SNSの活用を進めます。
- ③ボランティア活動を紹介し新しい協力者を募ります。
- ④生活困窮者支援炊き出しやハローワーク前なんでも相談会を引き続き取り組みます。
- ⑤群馬県生協連女性協議会に運営委員として、様々な企画に参加します。

・生協の取り組みを知らせる活動

- ①機関紙「緑十字」の配達者を増やします。
- ②活動しているすべての支部で「支部ニュース」の発行を目指します。

・だれでも利用できる多世代の居場所づくり活動

- ①組合員ふれあい会館を利用し、子どもや学生、20代30代世代が集まる企画を行います。
- ②「えんがお」をさらに地域に拡げます。
- ③空き家、空きスペースでの居場所づくりをめざします。

・地域組合員と職員組合員のつながりを強める活動

- ①組合員職員交流集会の開催を検討します。
- ②健康まつり、ふれあいまつりについて、規模や内容の検討を行います。



組合員ふれあい会館・わくわく健康チェック

6. 教育文化活動

- ①平和や命の大切さを考えさせる映画会を行います。
- ②「ふるさとの散歩道」を継続し、「歴史散歩」の検討を行います。
- ③組合員の元気と交流の場「うたごえ喫茶」を検討します。

7. 社会保障・平和を守る活動

・社会保障を守る活動

- ①医療や介護保険が改悪される医療保険制度改革関連法の見直しや、年金の改悪に反対する運動に取り組みます。
- ②国民健康保険制度や介護保険制度の改善、新型コロナウイルスの影響による医療体制や補償の問題など、高崎市をはじめ西毛地域の自治体との懇談を開催し、医療・介護の現場の声を行政に伝え、改善を求めます。
- ③第35回日本高齢者大会（京都・オンライン開催）に参加します。
- ④高崎経済大学の学生への食糧支援プロジェクト（まんぶくプロジェクト@高崎）に参加・協力します。
- ⑤被災者を支える活動（募金など）を引き続き行います。

・平和を守る活動

- ①憲法を守る活動に取り組みます。第25条（国民の生存権）と第9条（戦争の放棄）を守る。
- ②国民平和行進や原水爆禁止世界大会、高崎平和コンサート、核廃絶や地球環境を守る活動に取り組みます。
- ③脱原発、福島被災地見学や福島の実態を知らせる活動に取り組みます。



スマートフォンの方が分からなくてお困りの方は、組合員活動部まで。027（323）2762

5月の活動

楽しくないと続かない

六郷支部

支部の役員会・議案説明会が5月19日に11人が参加し開催されました。

今回は、第70回通常総代会に向けて、総代会議案ダイジェスト版の説明

その後、「2025年問題」について、支部の高齢化にも触れ話し合われました。

六郷支部では、新井団地班での活動が中心で、毎週体操・ストレッチ・歌などを組み合わせて班会を行っています。

中心になって活動する組合員からは「楽しくない」と活動も続かないです」との声、参加者は、楽しいと満足して居るそうです。



今年の映画鑑賞会決まる

吉井支部

吉井支部では、5月21日に定例班会の日を総会に代えています。

関沼専務より総代会議

案書のダイジェスト版の説明を受け、意見交換を行ったあとは、支部の役員体制と総括と新たな年の活動について話し合いました。



昨年度は、新たな仲間を迎えて活動できたことや班会で念願だった映画鑑賞会を開けたことなど、前進面が話し合われ、2022年度も映画「ひまわり」鑑賞会を7月に行うことが決まりました。

支部総会で

オーラルフレイル学ぶ

安中支部

安中支部はこの2年間活動停止状態でしたが、5月25日に10人が参加し支部総会を開催することが出来ました。

ZOOMで会場を繋

ぎ、歯科衛生士からオーラルフレイルを学びました。その後、組合員活動部長より総代会議案ダイジェストの説明を聞きま

した。

組合員からは「今まで別の病院に通っていたが、高崎中央病院に通院したい」などの声が出ました。

長期間にわたるコロナ禍で班会も休んでいましたが、今回の支部総会を機会に今後の役員会の日程も決め、活動再開を具体化しました。



ダイジェスト版説明会

第3支部

お天気となった5月23日、第3支部は高崎城址

公園で総代会議案ダイジェスト版説明会を開催

しました。

生協の事業所、特に看護小規模多機能施設「つむぎ」のことなど、施設が増えていることに参加者のみなさんも関心を持っていただくことができました。



手打ちうどんで交流

第2支部

組合員会館を会場に、木村理事の指導で5月21日に手打ちうどんを作りました。

コロナ禍で、職員と組合員の接点が希薄になっていたのも、お互いにコミュニケーションを図り

ました。職員6人、うどん好き小学4年生の男子、理事2人が参加しました。ほとんどの人が初めての体験。ひたすら熱心に集中する姿は何ともいえません。

お粉はもちろん群馬県産。かつてどここの家でもあったという、小野式製麺機も登場。打ちたてのおうどんを家に持ち帰り、さっそくゆでて食しました。地粉のなんとも言えない風味、美味でした。



私の趣味

聞いてみました！

理事長 鈴木 隆

木を使った工作

作り始めたのは子どものおもちゃからで、歩き初めに使う手押し「カタカタ」が第1号でし



森の演奏会

た。みんな男の子だったので車や恐竜、保育園のバザー用の作品、小児科の待合室で子どもが乗って遊べるような大きなもの、子どもの夏休み工作のアドバイス（？）その後医師会の作品展が高島屋で行われるようになりタダで展示できるならラッキーと毎年何か作って出しています。電動の道具も大分増えました。材料の木材は拾ってきたり貰ったり買ったりで増える一方です。（当面間に合っています）

すこしおレシピ

「すこしお」とは…

「少しの塩分ですこやかな生活」を目指す医療福祉生協のとりのくみの総称です。



鶏ひき肉と豆腐のとろみ煮

だしで仕上げた辛くない麻婆豆腐

●材 料（2人分）

- ・鶏ひき肉…………… 150g
- ・絹ごし豆腐…………… 150g
- ・サラダ油…………… 小さじ半分
- ・ねぎのみじん切り…………… 50g
- ・しょうがのみじん切り…………… 20g
- ・だし…………… 150cc
- ④酒・みりん・しょうゆ…………… 各大さじ半分
- ⑤片栗粉・水…………… 各小さじ半分
- ・小ねぎの小口切り…………… 適量

〈1人分の栄養価〉
238kcal 塩分0.9g

●作り方

- ①豆腐は2cm角に切る。
- ②フライパンにサラダ油を中火で熱し、ひき肉を炒める。肉の色が変わったら、ねぎとしょうがを加えてさっと炒め合わせる。
- ③②に④を加え、煮立ったら①を加えて3分ほど煮る。弱火にして、混ぜ合わせた⑤を加えてとろみをつける。
- ④器に盛り、小ねぎを散らす。



ちょっと一言

鶏ひき肉は日持ちがしないので、購入した日のうちに調理するのがベスト。その日のうちに調理しない場合は冷凍保存した方がいいでしょう。（高崎中央病院栄養科 調理師 山田 美里）

お引越しをされた時にはご連絡を。ご家族の出資金引き継ぎ手続きは、組合員活動部まで。

027（323）2762